

第101回番組審議会議事録

開催年月日：令和2年7月22日（水）午前10時から午前11時30分

開催場所：綾部市広小路1丁目29番の1アイタウンホール

出席状況

委員総数7名

出席委員数 6名

出席委員の氏名

高崎 忍

白子 あゆみ

松井 浩

朝倉 正道

岡垣 美樹

山城 睦子

欠席委員の氏名

草刈 正年

放送事業者出席者

代表取締役社長 井関悟

総合制作課 光枝 明日香

議 題

1. 開会
2. あいさつ（代表取締役社長 井関悟）
3. 議事録署名委員の選定
4. 議事
 1. 開会開会
 2. 番組審議委員の委嘱
 3. 番組審議会会長の選任
 4. あいさつ（代表取締役社長 井関悟）
 5. 議事録署名委員の選定
 6. 議事
 - （1）令和2年4月から7月の放送状況
 - （2）コロナ関連以外の放送状況
 - （3）その他

議事の概要

令和2年4月から7月の放送状況

社員1名が疾病で長期入院となり4月からは休職扱いになった。復職は9月からの予定。1月から1名減の状態スタートして、光枝を中心とした体制で放送対応を行っている。2月中旬以降は、コロナ感染症対策も加わった。

【コロナ対応】

4月7日に東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の7都府県に緊急事態宣言が発令。FMいかるでは4月9日「新型コロナウイルス感染症に係る指針・予防・対応マニュアル」（別紙）を作成した。4月16日に、対象が全国に拡大され、京都府を含む13の都道府県は特に重点的に感染拡大防止の取り組みを進めていく必要がある「特定警戒都道府県」とされた。総務省からコミュニティ放送業界へ「出勤者削減及び事業継続の取組」の要請があり、コミュニティ放送は社会機能を維持する上で必要な事業（報道機関）と位置づけられ、弊社もローテーションにより出勤日数を半減しながらも、放送の継続を最重事項として対応することにした。4月21日から「FMいかる新型コロナウイルス感染症に係る対応」を行い、職員の出勤ローテーションとパーソナリティの出勤中止により、接触率を全体で80%削減、少人数の運用で5月7日まで行うことにした。その後、緊急事態宣言の延長に伴い、対応を5月31日まで延長した。

【感染対策と放送継続のための主な取組】

- ・社員を3チームに分けローテーション出勤
- ・放送のワンマン体制への移行
- ・一部を除いてパーソナリティ、市民パーソナリティ、コメンテーターの中止
- ・ゲスト中止
- ・府外への出張中止（JCBAの会議はすべてオンライン会議（ZOOM）で対応）
- ・コミュニティ放送のガイドラインに基づく感染予防対策

市の対策本部会議にはすべて出席し、早い情報入手して市と歩調を合わせて放送対応を行った。市長自らの声でスポットCMの作成や手話付きの動画発信などの新たな取り組みも行った。また、全国規模の情報や京都府からの感染者情報を放送するため、NHK京都放送の情報をリライト利用した。もともと、NHKとの取り決めでニュース利用は自然災害を想定した非常災害時に限ることになっていたが、今回の新型コロナウイルスについても、全国規模にわたる非常事態という認識で利用が可能であるとの確認を行い、FMいかる街角ニュースとして使用した。首相や知事の会見の報道が利用できたことは有意義であった。ニュース利用後は、毎回NHKに報告を行った。

【コロナ関連の主な放送対応】

- ・行事中止のお知らせ、学校の対応、感染予防対策、悪質商法の注意喚起、人権への配慮等の毎日放送

- ・NHK ニュースをリライトしてFM いかる街角ニュース速報として報道
- ・市長自らの音声で作成したスポット CM の放送（4月23日～現在も放送中 1日15本）
- ・「新型コロナウイルス感染症、この人に聞く」を特別番組として放送（3番組）
- ・いかるオールリクエスト放送（4月21日～5月30日）
- ・綾部市立病院制作「ラジトレ」の放送（5月11日～現在も放送中 1日2回）
- ・市長動画メッセージ作成（3回）

【コロナ関連で中止になった主な放送】

- ・日曜議会放送
- ・丹の国まつり特番
- ・天酒まつり生放送
- ・高校野球中継
- ・水無月まつり特番

【コロナ関連特別番組：新型コロナウイルス感染症、この人に聞く】

新型コロナウイルス感染症に関して、綾部市では、今どのようなことが起こっているのか、また市民の私たち市民が今、なすべきことはなにかを考える3回シリーズの企画番組。

① 綾部市（山崎善也市長）

放送日時：4月23日（木）17:30～17:45 再放送4月24日（金）12:15～12:30

② 綾部市立病院（高升正彦院長）

放送日時：4月28日（火）17:30～17:45 再放送4月29日（金）12:15～12:30

③ 京都府中丹保健所（廣畑弘所長）

放送日時：4月30日（木）17:30～17:45 再放送5月1日（金）12:15～12:30

パーソナリティ：井関 悟

【コロナ関連特別企画：いかるオールリクエスト】

外部のパーソナリティに委託している午前10時からの「歌のアルバム」「洋楽セレクション」を中止して「いかるオールリクエスト」を放送した。緊急事態宣言の発出で外出自粛を余儀なくされ、他人との会話の機会が減った市民にラジオを通じて、密接なふれ合いを持って頂く。ラジオ本来の楽しみであるリスナーとのツーウェイと一番手軽で楽しめる、リクエストオンリーの番組。電リク（電話リクエスト）も可能。予想に反して、1時間半の番組に毎回25～27曲のリクエストを頂き、好評に終わった。番組が終了する時には惜しむ声が多く寄せられた。

放送日時：4月21日（火）～5月30日（土）10:00～11:30

パーソナリティ：井関 悟（火・木）、杉井敏之（月・水・金）、三嶋久実（土）、村上真奈（土）

コロナ関連以外の放送状況

【特別番組：子育てシンポジウム】

京都府中丹広域振興局が進める「中丹子育てしやすいまちづくり事業」のキックオフイベントが2月8日（土）「北部産業創造センター」で開催され、FM いかるは音響と映像制作を担当した。またシンポジウムの様子を収録して、FM まいづる、京都丹波 FM 放送の3局共同番組として同時放送した。

放送日時：3月15日（日）11:00～13:00

【特別番組：農泊セミナー】

2020年3月28日（土）に田舎生活研究所で収録したセミナー「観光であやべを活性化！～いま綾部がとりくんでいること～」の特別番組。セミナー会場にはコロナ対策で観客を入れずに行い、ラジオ放送で行うことになった。綾部市の観光の現状や課題、今後の展開など、綾部農泊推進地域協議会メンバーや市内で観光に関わる関係者によるパネルディスカッション。インバウンドの受入体制の充実を図るため、農林水産省の農山漁村振興交付金を活用した事業。放送以外にセミナーの動画作成、インバウンド向けのイメージ動画も制作した。

放送日時：3月31日（火）20:00～22:00

【特別番組：6月定例議会】

3月議会（日曜議会）の代表質問がコロナ対応でなくなったため、6月議会で7人の一般質問の放送を行った。

一般質問初日（6月9日）放送日／令和2年6月13日（土）

12：00～創政会 荒木 敏文議員

13：00～民政会 種清 喜之議員

14：05～民政会 本田 文夫議員

15：10～公明党 森 義美議員

16：15～民政会 片岡 英晃議員

一般質問2日（6月10日）放送日／令和2年6月14日（日）

11：00～日本共産党議員団 吉崎 久議員

12：05～日本共産党議員団 井田 佳代子議員

12：50～創政会 柳原 秀一議員

【CoolChoice 関連】

COOL CHOICE は環境省が行っている二酸化炭素削減 PR 活動で、平成 29 年度から全国のコミュニティ放送を使用して広報を行っており、当社は 3 年連続で事業を受託している。令和 2 年度は、若い世代が自主的に地球温暖化に取り組む内容に助成されるため、福知山公立大学の学生と小学生の行動変容を狙った 2 つの企画をプロポーザルして採択された。

・CoolChoice A to Z

塩見直紀氏が進める、物事の本質を分かりやすく明らかにする AtoZ という古典的手法で、CoolChoice の AtoZ を作成し、26 のラジオ番組を作成する。CoolChoice の A から Z をまとめることで、「これまでに気がつかなかった CO2 削減の新しい発見」、「地球環境に本当に大事なことは何なのか」、「漠然と思っていた地球環境への取組をスッキリと整理」していく作業をおこなっていく。たとえば「A」＝「Agriculture（農業）」なら、地球温暖化が農業にどのように影響しているのか地域の米農家にインタビューする。「G」＝「ゴーヤ」では、グリーンカーテンを作って脱炭素社会を実践している人にライフスタイルを聞くなど、26 の 15 分番組を放送する。1 月には AtoZ 冊子を作成して、AtoZ のそれぞれの項目に QR コードをつけ、ポッドキャストでも聴けるようにする。

・環境工作教室（自然体験教室）と館長による星と環境の番組

綾部市天文館パオが毎月、開催している子ども工作教室、自然体験教室、自然観察会に参加した親子に教室で学んだ地球温暖化についてインタビューを行い、毎月放送する。また、月 1 回天文館館長による小学生向けの星と環境の番組も放送する。さらに、9 月～10 月に天文館で子ども向けの出前環境講座を実施して公開録音番組として放送する。

その他

・再免許申請について

5 年ごとにすべての放送局が更新しなければならない再免許で、現在の免許は令和 2 年 10 月 31 日で終了する。6 月 19 日に総務省に申請した。

・防災ラジオについて

綾部市が今年度、国の補助金を活用して防災ラジオ（自動起動ラジオ）を導入する予定。綾部市でラジオのメーカーや機種を検討中。

・第 2 級陸上特殊無線技士資格取得について

平成 31 年法改正がありコミュニティ放送の無線従事者の資格が第 2 級陸上特殊無線技士まで緩和され、井関、杉井の 2 名が資格取得した。しかし、緩和された資格では放送局の固定回線 (STL) の操作ができないため、これまで通りに第 1 級陸上無線技士を専任することが必要。そのほか設備面では 1 月に APS（放送自動運行システム）の設備投資を行なった

・令和元年度決算について

（広報誌ねっと 7 月号参照）

委員からの意見

【議事 1：令和 2 年 4 月から 7 月の放送状況】

FM いかる新型コロナウイルス感染症に係る指針・予防・対応マニュアルについて

(委員) 4 月の段階でこのようなガイドラインができてるのは早いと思うがどうか？

(FM) 早かったと思う。JCBA のガイドラインも参考にもなった。

(委員) 初めてのコロナ体験として、よくまとまられている。マニュアルは誰が作ったか？

(FM) 総務省とのやり取りの中で社長が作成したもの。

(委員) 迅速な対応ができていると思う。

新型コロナ禍での情報発信について

(委員) マニュアル通りにスタッフを A グループと B グループに分けるのは大変だったのではないかと。スタッフが 1 人減っている中での対応は称賛に値する。

(委員) 綾部市のコロナ状況は、FM いかるの SNS から発信される情報も参考になった。

(委員) デマや不確実な情報をどのように確認しているのか？

(FM) 必ず市に確認してから放送するようにしている。いろんな噂やデマが絶えないため、未確認情報は出さないようにしている。

(委員) 情報を一人歩きさせないことが大切。そう思って放送を心がけて欲しい。

【議事 2：コロナ関連以外の放送状況】

COOL CHOICE：環境工作教室について

(委員) 天文館パオに関する観光協会への問い合わせは多い。市が天文館のような施設を所有しているのは珍しいので、これからも天文館に関する番組を続けて欲しい。

【議事 3：その他】

防災ラジオ導入にあたり

(委員) 災害時の FM いかるの対応は早いと思う。テレビではわからない情報が FM いかるから放送されている。細かい地域の情報を得られるのが良い。

(委員) 情報の入手は大変だと思うが、ネットワーク活かして、情報入手先の確保して欲しい。

審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

該当事項無し

審議機関の答申又は意見を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

公表内容

第101回番組審議会審議概要

公表方法年月日

- ・ 会社（事務所）に備え置き 令和2年8月7日
- ・ ホームページ 令和2年8月7日
- ・ 放送番組で放送 令和2年8月7日（番組名：とれたてワイド内）

その他参考と事項

該当無し

令和2年8月7日

上記のとおり相違ないことを確認する。

第101回番組審議会議事録署名委員

白子 あゆみ 印

岡垣 美樹 印